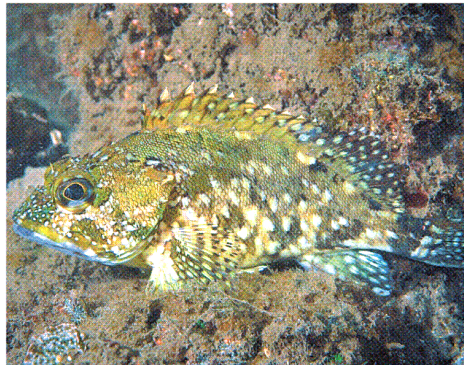
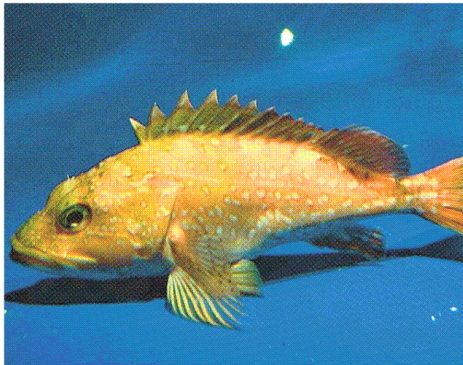




鹿児島では「アラカブ」と呼ばれるカサゴ



ウッカリカサゴ。カサゴによく似ている

ウッカリカサゴ

学名 *Sebastiscus tertius*

食べ物 エビやカニ、ゴカイ、**小型**のイカやタコ、**小型**の魚類など
生息地 宮城県以南の九州沿岸、朝鮮半島沿岸や東シナ海などの東太平洋

全長 30センチ
特徴 **小型**のウッカリカサゴは浅い海でも見られることがあるが大きく成長するにつれ、より深いところへ移動する。カサゴよりも大きくなり40～50センチほどに成長するものもある。釣りや底引き網などで漁獲され、カサゴと同様に非常に**おいしい魚**である。大きな口で、**小魚**やカニ、エビ、イカ、ゴカイなど動くものは何でも食べてしまう。

カサゴとそっくり

ウッカリカサゴ。一度聞いたら忘れられない、うそのような**本当の名前**です。
鹿児島では「アラカブ」としておなじみのカサゴにとってもよく似ていて、水族館の

職員でも一見、区別がつかないくらいです。どちらか日本**の広い地域**にいて、食べる**おいしい魚**です。
この2種類は長い間、区別されませんでした。旧

ソ連(ロシア)の研究者が違**う魚**であることを発見して発表しました。たくさん日本にいるのに、日本人の研究者がうつかり気づかなかったという**こと**で和名が「ウッカリカサゴになりました。鹿児島湾ではカサゴは浅い所に、ウッカリカサゴは水深100センチ以上の深い海に生息する

おもしろ生き物図鑑

かごしま水族館から

ことが分かっています。
鹿児島湾の湾奥に若尊カルデラという海底火山があり、水深100センチほどの場所にサツマハオリムシという貴重生物が群生しています。ミズやゴカイに近い仲間、1センチほどの細長い管の中にすんでいます。サツマハオリムシが密集する所は、小山のような固まりになります。サツマハオリムシを水中探査機で調査した映像を見ると、カサゴに似た魚が多く映っています。そこで偶然、捕獲された魚を調べてみるとウッカリカサゴでした。
カサゴもウッカリカサゴも岩などの障害物をすみかにする習性があるため、海底火山のサツマハオリムシ群落は絶好の隠れ家になっているようです。(展示課魚類展示係・宮崎亘)